

第2学年 生活科学習指導案

指導者

1 単元 「そめそめ大きくせん」

2 指導観

【こんな子どもたちだから】

○ 本学級の児童は、1年生のころから、主に学校のビオトープを通して、四季による草木の色の変化や、その形の面白さに触れてきている。2年生では、春のビオトープにある自然を調べたり、四葉のクローバーを探したりしてきた。「ぐんぐんそだて」の単元では、ミニトマトを生長を追いながら詳しく観察し、トマトが赤くなっていくことに喜びや感動を味わった。これらの体験を通して、自然の草木に面白さを感じている子は多い。子どもによっては、休み時間にビオトープなどで四葉や珍しい草木を探すなど、日ごろから草木に興味・関心を持っている。しかし、これまでたくさん草木を観察する経験は積んだが、その活動のほとんどは外側から見た色や形の観察に留まっている。普段の様子を見ていると、草木での遊び方も、「めずらしい植物を探す」で終わっているように感じられる。

また、本学校の子ども達は、6年間を通して、ビオトープに関する学習を行う。高学年になれば、ビオトープの生態系について考え、堀干し作業や改良作業を行っていくことになる。それに向けて、低学年ではビオトープの生き物や植物に十分にかかわり、ビオトープにある自然についての知識や、ビオトープに対する興味・関心、そして愛着を持たせていくことが必要である。

以上の点から、草木をただ外側から観察することのみに留まらず、子どもたちが植物へのかかわり方を更に広げることができるような活動をしくむ必要がある。

【こんな教材で】

○ 「そめそめ大きくせん」は、生活科指導要領の内容の(6)「身近な自然を利用したり、身近にあるものを使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気づき、みんなで遊びを楽しむことができるようにする」にあたり、本校で取り組んでいるビオトープ学習ともつなげている。本単元は、植物が様々な色を持っていることを、色水作りを通して気付くことのできる教材である。そして、色水作りだけで留まらず、植物の持つ色素で布や紙を染める活動を通して、植物への興味・関心を一層深め、植物にはいろんな楽しみ方や使い方があることを知るとともに、植物の素晴らしさに気づくことができる。さらに、草むしりをしていたら軍手が緑に染まった、というような日常の経験と結びつく教材でもあり、子どもにとって身近なものである。

植物を用いて色水作りをすることで、子どもたちは今までより植物の持つ色に着目することができるようになる。ビオトープにある植物を使って活動し、色水作りを行うことで、いままで何気なく見たり採ったりしていたビオトープの植物から、緑や赤のきれいな色水が作れることに喜びや楽しみを感じることができる。そして、色水作りの活動をビオトープに留まらず、学校の敷地内や登校中に見つけた植物にも広げることで、子ども達の活動の広がりや、気づきの深まりが期待される。活動の中で、子ども達の「この植物からはこんな色水ができそうだ」と予想したり、「より濃く色を出すため

には「よりきれいな色を出すためには」と試行錯誤をしたりする姿が予想される。

さらに、植物の持つ多様な色は、「染める」という方法で遊びや生活に利用できる。本単元では、子ども達に「折り染め」と「草木染め」を体験させる。

折り染めは、色水をそのまま染色液として使用することができ、色水作りをしてきた子ども達にとっては、親しみやすいものである。そして、「草木染め」の活動では、材料を煮出して、更に濃い染液を作るため、布がまた今までと違った色に染まる。染める方法や材料の違いで結果が違ってくため、これらの活動を通して、植物の色の不思議さや、その色を利用することの面白さを感じることができる。

植物で染めた色は、科学染料ほどはっきりした色は出せないし、時間とともに褪せていく。そして、染めるときの草木の匂いの強さにも驚かされる。しかし、だからこそ面白さがあることや、自然そのものの色のよさがあることに気付くことで、植物への親しみや愛着をもつことができるようになる。

学習が終わっても、色水作りや折り染め・草木染めは、遊びの中や家庭でできるため、この材料で染めたらどうなるか、といった活動の広がりが期待される。

【こんな子どもに】

- ビオトープや学校、家など、身の回りにある植物に親しみを持ち、遊びや生活の中で進んでかかわろうとする子ども。
- 身の回りの植物はそれぞれ色を持っていて、その色で紙や布などを染めることができることを知り、それを遊びや生活に活かそうとする子ども。
- 安全に気をつけながら火を使うことのできる子ども。
- 気づいたことを伝え合ったり、作品を見せ合ったりする中で、互いの良さを認めあうことができる子ども。

【こんな方法で】

- 植物の持つ色に興味・関心を持たせるために。
植物の色に注目させるため、単元のはじめでは色水作りを十分に行う。いろんな材料で色水作りを行うことで、子どもたちは植物が色を持っているということや、その色には多様性があることに気付くことができる。できた色水は、小さなパックに移して台紙にまとめることで、たくさんの色を集めたことに達成感を持たせ、友だちの作った物と自分の作った物を比べることができるようにする。
植物から出た色を利用した遊びに発展させるが、ここでは、色水を使った折り染めを行う。これまでに十分に色水作りを行っているので、折り染めを通して、色を紙に定着させることができることの面白さに気づくことができると考える。そして、染める活動をさらに発展させ、草木染めを行う。草木染めは、草木を煮出して染液を作るため、折り染めより濃く色を定着させることができる。子ども達は単元を通して、植物によって持っている色がちがうということだけでなく、染める方法によってもちがった色になることを知ることができる。たくさんの色遊びを通して、色という視点で植物の不思議さや面白さに気づかせていきたい。
- 友だちと認め合いながら活動させるために
できたものを見せ合うだけでなく、見たことや感じたこと、考えたことをワークシートにまとめ、ほ

めほめカードで認め合う活動を仕組む。また、基本的に生活班で活動する事で、班の人と協力しながら活動できるようにする。

3 単元の目標

- 植物のもつ色に関心を持ち、楽しみながら色水を作ったり、染め物をしたりできる。
- 植物を使った色水作りや、染め物体験を通して、思ったことや考えたことなどを表現することができる。
- 植物の色が、種類や染め方によって違う色を示すことに気付くことができる。

4 指導計画（全12時間）

	配時	学習活動と内容	教師の支援
つかむ	1	<p>1、色水作りの方法を知り、いろいろな植物で色水を作りたいという思いを持つ。</p> <p>(1) 教師が作った色水を提示し、何を使って水に色を付けたかを考える。</p> <p>(2) 色水作りの方法を知る。</p> <p>①教師のお手本を見る。</p> <p>②手順をもう一度確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師が事前に作っておいた数種類の色水を見せ、活動に意欲が持てるようにする。
さぐる	1	<p>2、ビオトープの植物を使って、色水作りをする。</p> <p>ビオトープのしょくぶつをつかって、色水を作ろう。</p> <p>(1) ビニル袋に水を入れ、色水作りの準備をする。</p> <p>(2) 色水作りを行う。</p> <p>①ビオトープに出て、植物を採取し、ビニル袋に入れて色水作りをする。</p> <p>②生活科ルームにもどり、できた色水を保存用の袋に移す。</p> <p>③ワークシートに、作った色水のことや、活動を通して気づいたことを書く。</p> <p>(3) できた色水をみんなで見え、活動を通して気づいたことを交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちが主体的に活動できるように、やり方や片付けの仕方をしっかり確認しておく。 ○ 保存用の袋に移す作業など、難しい作業を、友達と助け合っでできるように声かけをする。
	2	<p>3、学校にある植物を使って色水作りをする。</p> <p>ビオトープいがいのしょくぶつで色水を作ろう。</p> <p>(1) 色水の作り方を再確認する。</p> <p>(2) 花壇やプランターに植えてある花などの取り扱いを確認する。</p> <p>(3) ビニル袋を持って、外に出て植物を採取する。</p> <p>(4) 生活科ルームに戻り、色水を作る。</p> <p>(5) できた色水をみんなで見え、活動を通して気づいたことを交流する。</p>	

2	<p>4、色水の利用方法を考え、折り染めをして遊ぶ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">色水をつかっておりぞめをしよう。</p> <p>(1) 色水を何かに使えないか考えて発表し合う。</p> <p>(2) 折り染めの方法を知る。</p> <p>①「そめる」という言葉からイメージできることを出し合い、活動を予想させる。</p> <p>②教師が予め作った作品を見て、意欲を高める。</p> <p>③教師のお手本を見る。</p> <p>④手順をもう一度確認する。</p> <p>(3) 外に出て、折り染めに使う色水を作る。</p> <p>(4) 教室にもどり、班を作って折り染めを行う。</p> <p>(5) 片付けをする。</p> <p>(6) 活動を通して気づいたことや、感想などを発表し合う。</p>	<p>○ いろんな折り方でいろんな模様が作れることを教える。</p> <p>○ できるだけ濃い色水を作るように声かけをする。</p>
1	<p>5、折り染めをした紙を画用紙に貼って作品を作り、友だちと認めあう。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おりぞめをした紙で作品を作ろう。</p> <p>(1) 折り染めをした紙を画用紙に貼り、それぞれ作品を作る。</p> <p>(2) できた作品を友だちと見せ合い、ほめほめカードを書いて認め合う。</p>	<p>○ どの子もかならずほめほめカードがもらえるように、席が隣のお友だちには必ず書くといった決まりを作る。</p>
1	<p>6、草木染めをすることを知り、どんな材料で染めるか考えたり調べたりする。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">草木ぞめのけいかくをしよう。</p> <p>(1) 折り染めの活動を想起し、もっと濃く色をつけるにはどうすればいいか考える。</p> <p>(2) 草木染めをしたハンカチを見て、草木染めという方法を知り、これからの活動に意欲をもつ。</p> <p>(3) どんな材料でやってみたいか発表し合う。</p> <p>(4) どんな材料が良く染まるか、本で調べたり、家に帰ってお家の人にインタビューをしたりする。</p>	<p>○ 草木染めの染まり方と折り染めの染まり方を比べさせて、草木染めをする良さに気づかせる。</p>
1	<p>7、材料ごとに草木染めの班を作り、草木染めを行う手順を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">草木ぞめのやり方を知ろう。</p> <p>(1) 調べてきた材料や、やってみたい材料を出し合う。</p> <p>(2) その中で、自分はどの材料でやるかを決め、班</p>	<p>○ できるだけ希望に沿って、材料毎に小グループを作り、班で</p>

		<p>を作る。</p> <p>(3) 草木染めの手順を確認する。</p> <p>①草木染めの手順カードを並び換える。</p> <p>②手順をひとつひとつ確認し、注意点などを知る。</p> <p>(4) ワークシートに、確認したことを書きこむ。</p> <p>(5) ハンカチを牛乳に浸けて洗い、乾かす作業をする。</p> <p>(6) 次の時間までに、材料を準備することを確認する。</p>	<p>協力しあって活動できるようにする。また、染め上がりの色を予想させる。</p>
	1	<p>8、材料にする草木を持ち寄ったり集めたりし、染色液を作る。</p> <p>草木ぞめにつかうせんえきをつくろう。</p> <p>(1) 染液作りの手順を確認する。</p> <p>①前時に使ったカードを見て、やり方を確認する。</p> <p>②火を安全に使うための約束をする。</p> <p>(2) 水を温め、材料を入れて、染液を作る。</p> <p>(3) 次の時の活動の流れを簡単に確認する。</p>	<p>○ 火傷など、子どもがけがをしないよう、草木染めをする上での注意をしっかりとしておく。また、班ごとに大人に付いてもらい、安全に活動できるようにする。</p>
	1 本時	<p>9、実際に、草木染めを行う。</p> <p>草木ぞめをして、できた作ひんをお友だちと見せ合おう。</p> <p>(1) 本時の活動の手順を確認する。</p> <p>(2) 染色作業を行う。</p> <p>①染液を温め直す。</p> <p>②染液を温め直す作業と平行して、ハンカチに絞りを入れる。</p> <p>③ミョウバン液にハンカチ浸けてから、染色作業を行う。</p> <p>④染まったハンカチを水で洗い、干す。</p> <p>⑤片付けを行う。</p> <p>(3) ワークシートに感想を書く。</p> <p>(4) 感想を交流する。</p> <p>(5) お世話になった人にお礼を言う。</p>	<p>○ 班ごとに大人に付いてもらい、安全に活動できるようにする。また、子どもの安全を考えて、火傷の危険がある作業などは、大人が行う。</p>
深める	1	<p>10、これまでの活動を想起し、気づいたことや思ったこと、感想などをワークシートにまとめる。</p> <p>草木ぞめのまとめをしよう。</p> <p>(1) これまでの活動を想起する。</p> <p>(2) お友達とハンカチを見せ合い、気づいたことを交流する。</p>	<p>○ 材料による違いや、染め方による違いを比較させながら、自</p>

	<p>(3) 友だちとワークシートやハンカチを見せ合い、ほめほめカードで認め合う。</p>	<p>分の気づきをまとめられるように支援する。</p> <p>○ どの子もかならずほめほめカードがもらえるように、席が隣のお友だちには必ず書くといった決まりを作る。</p>
--	---	--

6 本時の目標

- お友達と協力しながら、楽しんで草木染めをすることができる。
- 活動を通して思ったことや感じたことを表現することができる。

7 本時指導の考え方

子どもたちはこれまでに、草木から色水が作れることを知り、いろいろな材料で色水作りを行ってきた。休み時間も外に出て色水作りをする子は多く、草木の持つ色に興味を持ち、楽しみながら活動する姿が見られた。その中で、子どもたちは植物を混ぜたり、小さな花をたくさん集めたり、揉み方を変えたりと、様々な工夫をしながら、たくさんの種類の色を集めることができた。

本単元では、植物から色水を作ることにとどまらず、染物を通して、その色を利用するところまでをねらいとしている。そこでまず、折り染めを行った。色水で習字紙に色をつける活動を通して、子どもたちは、植物の色で他のものに色をつけることができることを学んだ。そこから活動を発展させて、草木染めに至っている。

本時の草木染めを行うにあたって、子どもたちは、草木染めの手順を学び、安全に活動するためのルールを作ってきた。そして、前の時間で実際に染液を作った。

これらを受けて本時では、作った染液を温めなおし、実際に草木染めを行う。草木染めを行うことで、これまで遊びの中で見つけてきた植物の色が、生活にも利用できるものであるという価値を見出すことができる。ただ、ハンカチに色をつけるだけでなく、輪ゴムを使って絞り模様を入れることで、より自分だけの作品ができたという喜びを持たせ、草木染めの楽しさを感じることができると考えた。

白いハンカチが染まっていく面白さや、輪ゴムをはずすときのドキドキ感、そしてハンカチを開いたときの喜びなどをお友達と共有しあうことで、今回作ったハンカチは子どもの宝物になるのではないだろうか。交流の場面では、できた喜びを発表させ、感想の中から気づきをひろいあげていきたい。

また今回作った作品は、次の時間に改めて友達と見せ合い、色や絞りなどについて発見したことをまとめていく。さらに、ほめほめカードを使ってお友達と互いに認め合い、自分の作品がお友達から認められたという満足感を得られるようにしていきたい。

8 準備物

【子ども】 ハンカチ、筆箱、絞りを入れるために使うもの

【教師】 ワークシート、前時に作った染色液、作業方法を確認するための掲示物、物干し竿
洗濯ばさみ、ざる、菜ばし、たらい、ミョウバン液、タイマー、ベル

配分	学習活動	支援と指導上の留意点
3分 5分	<p>1、めあての確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までの学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 草木染めの計画をしてきたこと。 ・ 染液を作ったこと。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">草木ぞめをして、じぶんだけのハンカチを作ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時学習の見通しを持つ。 <p>2、作業の手順の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ カードを使って作業の手順を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの学習を想起させながら意欲を高め、本時学習のめあてをもたせる。 ○ 事前に、活動が行いやすいように、4～5人班を作っておく。
25分	<p>《手順》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <pre> graph LR A[せんえきをあたためなおす。] --> B[ハンカチをミョウバンにつける。] C[ハンカチをわゴムでしぼる。] --> B B --> D[せんえきにハンカチをつけて、10分くらいはしでゆらす。] D --> E[ハンカチを水であらって、わゴムをとる。] E --> F[ハンカチをほす。] </pre> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 火を使うときの約束をもう一度確認する。 <p>3、作業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 染液を火にかける。 ○ 輪ゴムや割り箸を使って、ハンカチに絞り模様を入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 火傷などのけがを防ぐため、計画の段階でも、安全面についてしっかり指導しておく。 ○ 安全面に配慮し、班ごとに大人についてもらい、危険な行動があれば指導をする。 ○ 基本的な絞り方を絵で示し、それぞれに工夫しながら模様をいれられるようにするとともに、やり方が分からず困っている子には、支援

	<p>○ 火を止め、染色作業を行い、染まったハンカチを物干し竿に干す。</p> <p>○ 片づけを行う。</p> <p>9分 4、振り返りを行う。</p> <p>○ ワークシートに、草木染めをした感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ちゃんとそまってよかった。 ・ はしでゆするのが楽しかった。 ・ おもしろいもようができた。 ・ 思ったのとちがう色にそまってびっくりした。 ・ ハンカチを大切にしたい。 <p>○ 全体で、感想を交流する。</p> <p>3分 5、次時への見通しを持つ。</p> <p>○ 次の時間に、お友達とハンカチを見せ合うことを確認して、次の時間の見通しを持たせる。</p> <p>6、今日お世話になった人にお礼を言い、終わりの挨拶をする。</p>	<p>を行う。</p> <p>○ 全体の進度を合わせるために、教師がタイマーで時間をはかり、ベルを鳴らして子どもたちに知らせる。</p> <p>○ 子どもが片付けること、教師が片付けることを明確に分け、素早く行動できるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※ ルールを守り、友達と協力しながら活動することができているか。</p> <p style="text-align: right;">【行動】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>※ 草木染めをしたことを振り返り、自分なりの感想を持ち、それを表現することができているか。</p> <p style="text-align: right;">【発言・ワークシート】</p> </div>
--	--	---